

Project プロジェクト

R4年3月1日号
放射線タウン情報

2022.3.1 発行 No.32

【編集発行】

南相馬市健康づくり課

☎0244-44-2121

放射線、放射能、放射性物質という3つの単語について、皆さんはそれぞれどういう時に使う言葉かご存知ですか？ここでは「火」を例に比べて見てみましょう。



火＝熱エネルギーを出す能力(火力)を持つ 熱エネルギーの単位＝ジュール(J)



放射性物質＝放射線を出す能力(放射能)を持ちます。

放射性物質＝放射線を出す能力(放射能)を持つ 放射能の単位＝ベクレル(Bq)

ベクレルに特有の換算計数をかけると、人体影響を意味するシーベルト(Sv)を求める事ができます。

今だからこそ確認しよう!!
放射線のあれこれ

換算係数は年齢によって変わります。ここでは大人を例に考えましょう。

例) 成人が放射性セシウムを 100Bq/kg 含む食品を 0.5kg 接種

$$100 \text{ (Bq/kg)} \times 0.5 \text{ (kg)} \times 0.013 \text{ (}\mu\text{Sv/Bq)} = 0.65 \mu\text{Sv} \\ = 0.00065\text{mSv}$$

ちなみに日本人は食品から年間平均 0.99mSv の被ばくを受けています。

原発事故が起こった際には、高濃度の放射能を持った食品の流通を

国などが早期に止めたため、日本人は内部被ばくに関して少なく済みました。

現在では防護上、より気を付けないといけないのは外部被ばくからの影響です。

次ページでは外部被ばくから身を守る方法を学んでいきましょう。



放射線から身を守る3つの方法

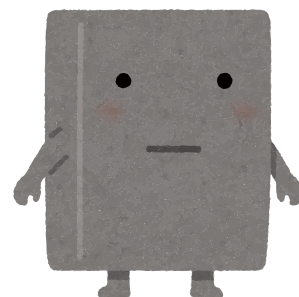
1 取り除く

放射性物質が付着した表土の削り取り、枝葉や落ち葉の除去、建物表面の洗浄などを行い、生活圏から取り除く方法です。



2 さえぎ 遮る

放射性物質をコンクリートなどで覆う方法です。放射線を遮ることで空間線量や被ばく線量を下げることができます。



3 遠ざける

放射性物質から遠く離れるほど放射線の強さは弱まります。遠ざければ人の被ばく線量を下げることができます。



【まとめ】

除染や避難といった行動は以上3つの方法に基づいたものです。またこのような行動を取らなければならない事態となった時は、これらのことを忘れずに、そして冷静に助け合いながら対応したいですね。

重要なお知らせ

これまで、市の放射線タウン情報紙 Project は、平成27年度から発行を始め、現在は年4回、市の広報紙と合わせて全ての世帯にお届けしておりますが、令和4年発行分から、市内新聞折込および市内小学校への配布に変わります。

そのほかの皆さまに関しては、大変お手数ですが、市内公共施設で手に入れてもらうか、市ホームページへのアップロード版にアクセスいただきご覧いただくという形になります。

これは、世界的にも推進されているペーパーレス化に、市としても取り組んでいくことの動きのひとつとなりますので、今後の変更についてご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。